

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年												2024年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月 ~4日	8月 ~11日	8月 ~18日	8月 ~25日	
カンピロバクター	48	30	46	63	57	67	75	49	29	47	43	65	20	24	38	25	57	50	39	11	9	4	17	
病原性大腸菌	47	37	55	103	120	108	102	56	52	49	80	102	43	61	105	92	79	76	83	12	30	8 (9)	18	
腸管出血性大腸菌	1	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	1	2	1	1	4	1	0	
サルモネラ	7	2	2	7	7	13	25	6	12	15	6	9	4	4	2	7	5	8	12	10	10	5	4	
黄色ブドウ球菌 MSSA	15	10	13	14	21	8	12	15	18	21	18	16	6	4	16	4	12	21	11	5	5	4	3	
黄色ブドウ球菌 MRSA	13	10	14	15	14	10	11	11	9	5	9	16	8	6	12	6	3	10	8	1	2	1	1	
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	1	1	2	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	1	3	1	0	3	1*	1*	
ロタウイルス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	
アデノウイルス	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	
ノロウイルス	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	4	9	20	10	3	4	0	1	1	0	0	0	

* その他は、アエロモナスでした。
()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報 令和6年第34週(8月19日~8月25日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5		1	1		1		2
三類	4	腸管出血性大腸菌感染症	4	2		1		1		
四類	1	デング熱	1					1		
五類	8	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	2						
		百日咳	1				1			
		梅毒	5					5		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり5.37人の報告がありました。昨年はお盆明けに増加に転じており、注意が必要です。手洗い、換気、マスク着用推奨場面(医療機関や高齢者施設等の訪問時)でのマスク着用などの感染予防対策を心がけましょう。

2 マイコプラズマ肺炎

定点当たり3.71人の報告があり、多い状況が続いています。マイコプラズマ肺炎は、長引く咳が特徴で、感染経路は飛沫感染と接触感染です。手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。

3 腸管出血性大腸菌感染症

今年の累計は21件となりました。

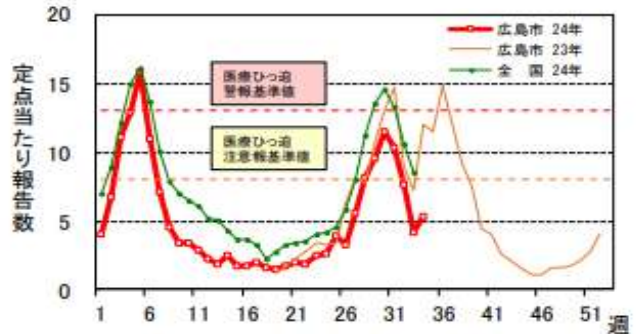
4 デング熱

今年の累計は2件となりました。国内で報告されるデング熱は、近年は、ほとんどが輸入症例(日本国外で感染)です。流行地域を訪れる際は、できる限り肌の露出を避け、虫よけスプレーを使用するなど、蚊に刺されないように注意しましょう。また、海外から帰国後、発熱等体調異状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

【参考】デング熱(Dengue Fever)(厚生労働省 検疫所) <https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/name33.html>



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	7	0.20	0.29		小児科	ヘルパンギーナ	5	0.23	0.71	
	新型コロナ(COVID-19)	188	5.37				流行性耳下腺炎	1	0.05	0.04	
小児科	RSウイルス感染症	12	0.55	1.07		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	5	0.23	0.24			流行性角結膜炎	2	0.25	0.33	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14	0.64	0.81		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	61	2.77	2.46			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	1	0.05	0.17			マイコプラズマ肺炎	26	3.71	-	
	手足口病	77	3.50	1.13			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.15			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
		突発性発しん	8	0.36	0.29						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

前週(第33週)は、お盆の休診により、報告数が影響を受けている可能性があり、今週(第34週)と適正な比較ができないことから、発生記号は表示していません。

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	72	20歳代・推定感染地域: 国外
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	21	10歳代・O103
4	デング熱	1	2	10歳代・推定感染地域: 国外
5	梅毒	5	105	20歳代・3人、30歳代・1人、40歳代・1人
5	百日咳	1	6	10歳代